



# DBMaster

Javaクエリツール参照編

CASEMaker Inc./Corporate Headquarters

1680 Civic Center Drive  
Santa Clara, CA 95050, U.S.A.

**Contact Information:**

CASEMaker US Division

E-mail : [info@casemaker.com](mailto:info@casemaker.com)

Europe Division

E-mail : [casemaker.europe@casemaker.com](mailto:casemaker.europe@casemaker.com)

Asia Division

E-mail : [casemaker.asia@casemaker.com](mailto:casemaker.asia@casemaker.com)(Taiwan)

E-mail : [info@casemaker.co.jp](mailto:info@casemaker.co.jp)(Japan)

[www.casemaker.com](http://www.casemaker.com)

[www.casemaker.com/support](http://www.casemaker.com/support)

©Copyright 1995-2015 by Syscom Computer Engineering Co.

Document No. 645049-236289/DBM54J-M09302015-JSQL

発行日:2015-09-30

ALL RIGHTS RESERVED.

本書の一部または全部を無断で、再出版、情報検索システムへ保存、その他の形式へ転作することは禁止されています。

本文には記されていない新しい機能についての説明は、CASEMakerのDBMasterをインストールしてから README.TXTを読んでください。

**登録商標**

CASEMaker、CASEMakerのロゴは、CASEMaker社の商標または登録商標です。

DBMasterは、Syscom Computer Engineering社の商標または登録商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは、Microsoft社の商標または登録商標です。

UNIXは、The Open Groupの商標または登録商標です。

ANSIは、American National Standards Institute, Incの商標または登録商標です。

ここで使用されているその他の製品名は、その所有者の商標または登録商標で、情報として記述しているだけです。SQLは、工業用語であって、いかなる企業、企業集団、組織、組織集団の所有物でもありません。

**注意事項**

本書で記述されるソフトウェアは、ソフトウェアと共に提供される使用許諾書に基づきます。

保証については、ご利用の販売店にお問い合わせ下さい。販売店は、特定用途への本コンピュータ製品の商品性や適合性について、代表または保証しません。販売店は、突然の衝撃、過度の熱、冷気、湿度等の外的な要因による本コンピュータ製品へ生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。不正な電圧や不適合なハードウェアやソフトウェアによってもたらされた損失や損害も同様です。

本書の記載情報は、その内容について十分精査していますが、その誤りについて責任を負うものではありません。本書は、事前の通知無く変更することがあります。

# 目次

|          |                     |            |
|----------|---------------------|------------|
| <b>1</b> | <b>はじめに .....</b>   | <b>1-1</b> |
| 1.1      | その他のマニュアル.....      | 1-2        |
| 1.2      | 字体の規則 .....         | 1-3        |
| <b>2</b> | <b>JSQL 基礎.....</b> | <b>2-1</b> |
| 2.1      | JSQL ワークスペース .....  | 2-1        |
|          | タイトルト .....         | 2-2        |
|          | メニュー・バー .....       | 2-2        |
|          | ツール・バー .....        | 2-2        |
|          | コマンド入力エリア .....     | 2-3        |
|          | コマンド結果エリア .....     | 2-3        |
|          | ステータスバー .....       | 2-5        |
| <b>3</b> | <b>JSQLの操作.....</b> | <b>3-1</b> |
| 3.1      | データベースにログイン .....   | 3-1        |
|          | データベースに接続する .....   | 3-1        |
|          | データベースから切断 .....    | 3-3        |
| 3.2      | ファイル .....          | 3-4        |

|                              |             |
|------------------------------|-------------|
| 保存コマンド .....                 | 3-4         |
| コマンドのロード .....               | 3-5         |
| <b>3.3 コマンドを実行する .....</b>   | <b>3-6</b>  |
| SQLを実行する .....               | 3-7         |
| バッチを実行する .....               | 3-7         |
| <b>3.4 オプション .....</b>       | <b>3-8</b>  |
| プリファレンス .....                | 3-8         |
| <b>4 メニューとツールバー参照 .....</b>  | <b>4-1</b>  |
| <b>4.1 プルダウンメニュー一覧 .....</b> | <b>4-1</b>  |
| <b>4.2 ツールバー コマンド .....</b>  | <b>4-2</b>  |
| <b>索引 .....</b>              | <b>索引-1</b> |

# 1 はじめに

JSQLユーザ参照編にようこそ。DBMasterは、強力かつ柔軟なSQL データベース管理システム(DBMS)です。会話型の構造的問合せ言語(SQL)、Microsoftのオープンデータベース結合(ODBC) 互換インタフェース、およびC 言語のための組込みSQL(ESQL/C)をサポートします。唯一の公開アーキテクチャであるODBCインタフェースは、多種多様なプログラミングツールを使用して顧客アプリケーションを構築し、既存のODBC-適合アプリケーションを用いてデータベースに問合せることを可能にします。

JSQLはグラフィカルユーザインタフェース(GUI)です。煩雑なDBMSと問い合わせ言語を必要とせず、直感的でわかりやすいグラフィカルインタフェースを提供します。正しいSQLを入力する煩わしさもなく、データベースを素早く管理、操作することができます。

このマニュアルではJSQLを使用したデータベースへのログイン、SQL実行、表形式またはテキスト形式でのクエリ結果の閲覧を体系的に解説します。JSQLを使用するに当たっては基本的なSQLの知識が必要です。

JSQLはユーザが効果的にデータベースを管理するための幅広い機能があります。

- 同時に複数のクエリを実行可能
- 同時に複数のクエリを実行可能
- クエリの結果を表形式/テキスト形式で表示可能
- SQLコマンドをロード/保存が可能

- バッチファイルの実行
- 表形式で複数のクエリ結果を表示

## 1.1 その他のマニュアル

DBMasterでは本マニュアル以外にもDBMSに必要なマニュアルを全て用意しています。特定のテーマについての詳細は、以下の書籍をご覧ください。

- DBMasterに関する性能と特性は「*DBMaster入門編*」をご覧ください。
- DBMasterの設計、管理、保守についての詳細は、「*データベース管理者参照編*」をご覧ください。
- DBMasterの管理についての詳細は、「*JServer Managerユーザーガイド*」をご覧ください。
- DBMasterの環境設定についての詳細は、「*JConfiguration Tool参照編*」をご覧ください。
- DBMasterの機能についての詳細は、「*JDBA Toolユーザーガイド*」をご覧ください。
- dmSQLツールに関しては「*dmSQLユーザガイド*」をご覧ください。
- DCI COBOLインターフェースに関しては「*DCI ユーザガイド*」をご覧ください。
- ESQL/Cプログラムに関しては「*ESQL/Cプログラマー参照編*」をご覧ください。
- ODBCとJDBCプログラムについての詳細は、「*ODBCプログラマー参照編*」と「*JDBCプログラマー参照編*」をご覧ください。
- エラーと警告メッセージについて「*エラー・メッセージ参照編*」をご覧ください。

## 1.2 字体の規則

本書は、標準の字体規則を使用しているので、簡単かつ明確に読むことができます。手順、例、コマンドライン規則には別の設定があり、インデクションにて使用されます。

| 字体          | 解説                                                                                                            |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 斜体          | 斜体は、ユーザー名や表名のような特定の情報を表します。斜体の文字そのものを入力せず、実際に使用する名前をそこに置き換えてください。斜体は、新しく登場した用語や文字を強調する場合にも使用します。              |
| 太字          | 太字は、ファイル名、データベース名、表名、カラム名、関数名やその他同様なケースに使用します。操作の手順においてメニューのコマンドを強調する場合にも、使用します。                              |
| キーワード       | 文中で使用するSQL言語のキーワードは、すべて英大文字で表現します。                                                                            |
| 小さい<br>英大文字 | 小さい英大文字は、キーボードのキーを示します。2つのキー間のプラス記号 (+) は、最初のキーを押したまま次のキーを押すことを示します。キーの間のコンマ (,) は、最初のキーを放してから次のキーを押すことを示します。 |
| ノート         | 重要な情報を意味します。                                                                                                  |
| ➡ プロシージャ    | 一連の手順や連続的な事項を表します。ほとんどの作業は、この書式で解説されます。ユーザーが行う論理的な処理の順序です。                                                    |
| ➡ 例         | 解説をよりわかりやすくするために与えられる例です。一般的に画面に表示されるテキストと共に表示されます。                                                           |
| コマンドライン     | 画面に表示されるテキストを意味します。この書式は、一般的にdmSQLコマンドやdmconfig.iniファイルの内容の入/出力を表示します。                                        |



## 2 JSQL基礎

このチャプターではJSQLのワークスペースのレイアウトと基本情報を紹介しています。

### 2.1 JSQLワークスペース

下図はワークスペースの基本的な構図です。ユーザはコマンド入力エリアにSQLコマンドを記述し、コマンド結果エリアで結果を閲覧します。コマンド結果エリアではテキスト形式と表形式の2種類の方法で結果を表示することができます。タブから結果の表示形式を選択します。このツールではdmSQLを使用しますがホスト変数を使用したload/uploadを実行することはできません。

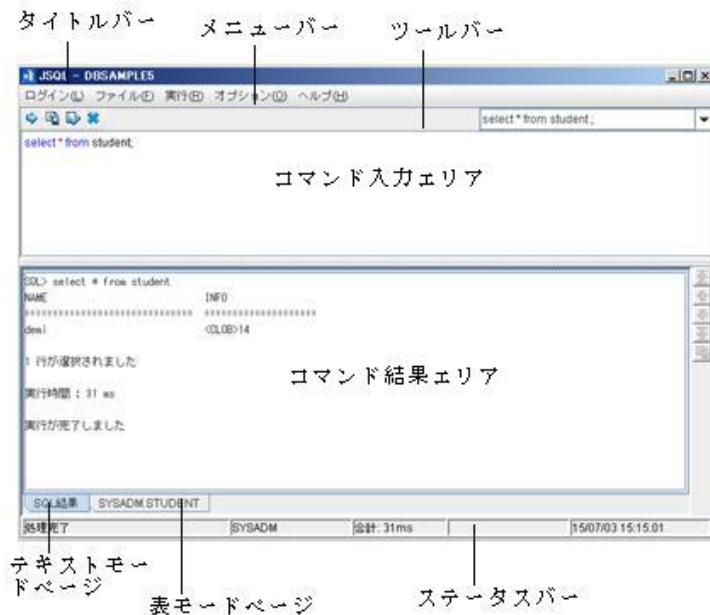


図 2-1: JSQL ツールワークスペース

### タイトルバー

タイトル・バーには、プログラム名"クエリツール"、最小化、最大化、閉じるボタンが表示されています。

### メニュー・バー

メニュー・バーには、JSQLのプルダウン・メニューが表示されます。各メニューの関連コマンドがあります。

### ツール・バー

ツールバーはコマンド実行ボタンと使用頻度の高いコマンドのドロップダウンリストのあるパレットです。

## コマンド入力エリア

コマンド入力エリアは、JSQL作業スペースのメイン・ウインドウです。コマンド入力エリアにはコマンドを入力します。

複数のコマンドを実行できますがそれぞれのコマンドをセミコロン(;)で区切ります。コマンドをコマンド画面から外部ファイルに出力、外部ファイルからコマンドをロードすることもできます。F5キー押下、またはメニューバーの実行ボタンをクリックして複数のSQLコマンドを実行します。

JSQLで使用するSQL文の詳細は「SQL文と関数参照編」をご覧ください。

## コマンド結果エリア

クエリ実行時の結果はテキスト形式(dmSQLでの表示と同様)もしくは表形式にて表示されます。

コマンドが正常に実行されたか、正常な表示かエラーメッセージのどちらかが結果エリアに表示されます。

### ➡ 例

1. [コマンド入力エリア] にコマンドを入力してください。例:

```
Select * from JSQLEST;
```

2. [F5キー] 押下、或いは[実行] ボタン()をクリックしてSQLコマンドを実行する。セミコロン(;)を使って、コマンド分割。間合せ結果はコマンド結果エリアに表示されます。
3. [F4キー] 押下、或いは[クリア] ボタン()をクリックしてコマンドを削除します。

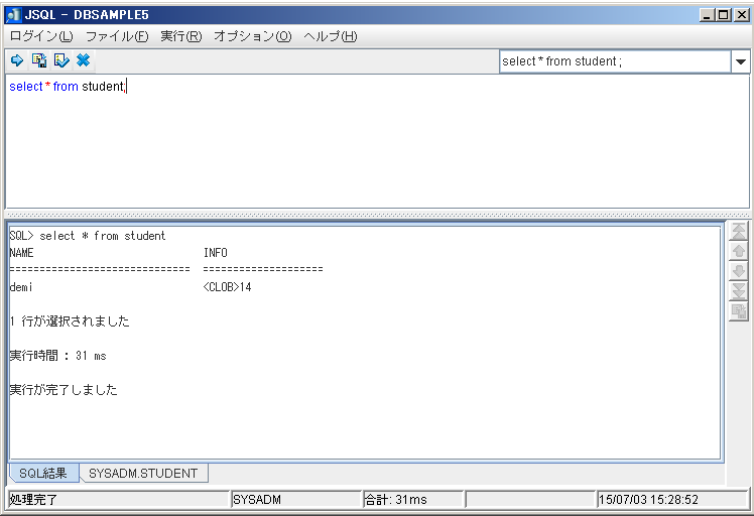


図 2-2: コマンド結果エリア-I

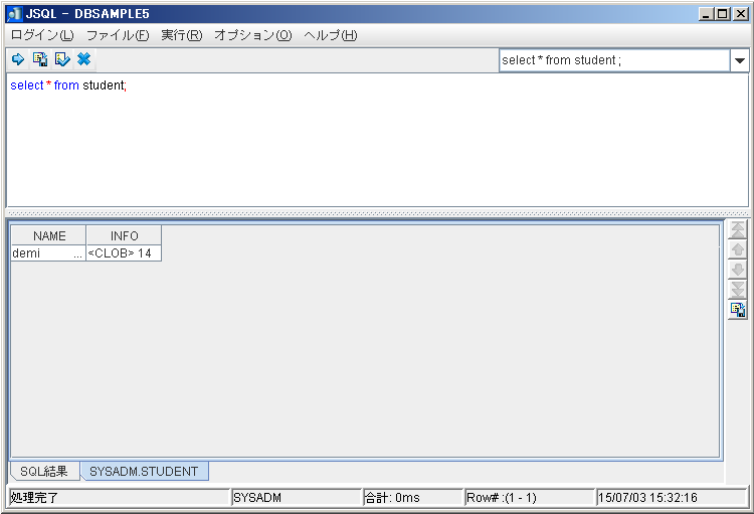
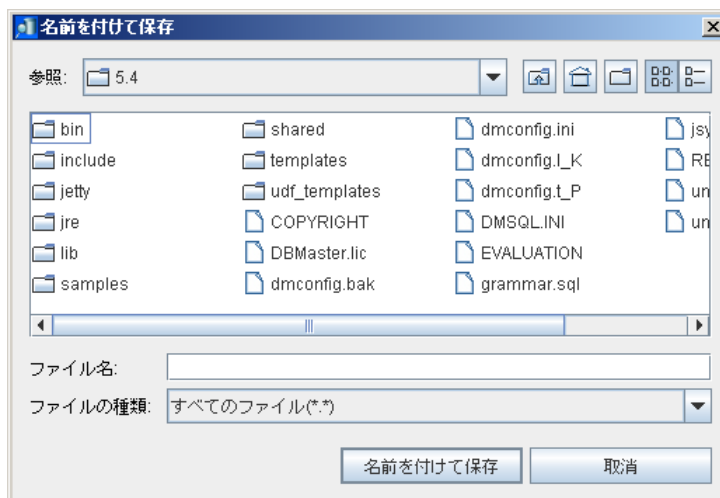


図 2-3: コマンド結果エリア-II

**注** オプションメニュー→プリファレンスの"クエリ結果テーブルの表示"にチェックを入れると、表形式でSQLの結果が表示されます。

4. 矢印キー↑↓を使用して、表示レコード順を変更、レコード件数の多い表の表示時に移動します。
5. **【保存】** ボタンをクリックし、問い合わせ結果を外部ファイルに保存します。保存ダイアログボックスが表示されます。



6. ダイアログボックスにファイル名を入力してファイルの保存先を選択します。
7. **【保存】** をクリックします。

## ステータスバー

ステータスバーには、現在のアクティブな作業スペースと実行コマンドの総処理時間が表示されます。



## 3 JSQLの操作

この章では、下記のJSQLの機能について解説します:

- 様々なクエリコマンドを同時に実行
- プレーンテキストモードと表モードでクエリ結果を表示
- SQLコマンドのロード/保存
- バッチファイルから実行
- 表モードで複数のクエリ結果表示

メニューバーに以下のものがあります: ログイン, 接続, 切断, ファイル, 終了, 保存, ロード, 実行, コマンドの実行, バッチの実行, オプション, プリファレンス。

JSQLツールのツールバー部分からコマンドの実行、保存、ロード、策を行います。

### 3.1 データベースにログイン

この章はデータベースへの接続と切断について解説します。

#### データベースに接続する

---

ローカルコンピュータのにシングルユーザデータベース、リモートコンピュータにクライアント/サーバーデータベースに接続する。

### ② データベースに接続する:

1. [ログイン] メニューから [データベースに接続] を選択 します。

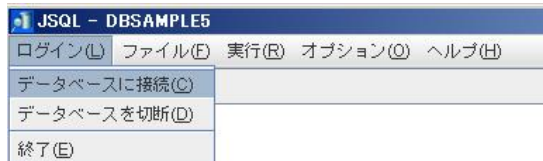


図 3-1: クエリツールメニュー

2. [ログイン] ダイアログボックスが表示されます。

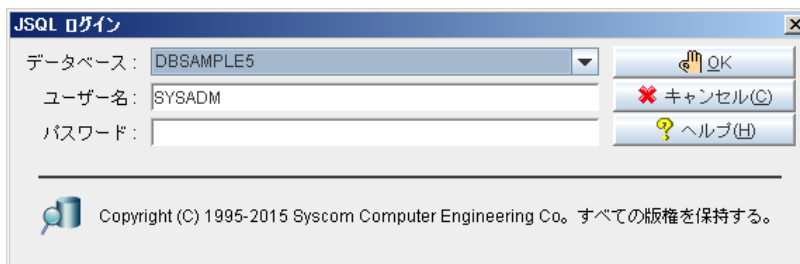


図 3-2: クエリツールログインメニュー

3. JSQLツールログイン画面の [データベース] メニューからデータベースを選択します。
4. [ユーザ名] フィールドにユーザIDを入力します。  
**注** デフォルトのユーザIDが設定されていれば自動的にそのIDがユーザ名フィールドに表示されます。
5. データベース接続にパスワードを設定している場合はパスワードフィールドに [パスワード] を入力します。
6. [OK] をクリックし、JSQLのGUIが表示されます。

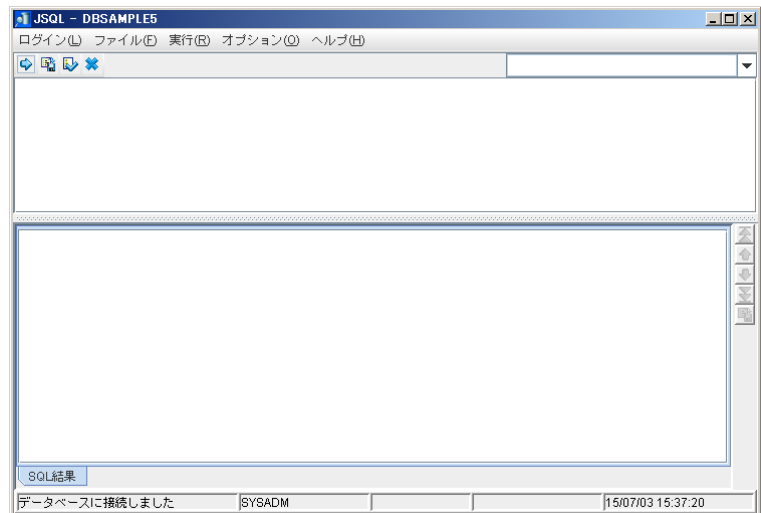


図3-3:クエリツールインタフェース

## データベースから切断

メニューコマンドを使用してシングルデータベースから切断します。

- データベースから切断:
  1. [ログイン] から [データベースを切断] を選択する。データベースから切断します。



## 3.2 ファイル

SQLコマンドを外部ファイルに保存、または外部ファイルからコマンドウィンドウへのSQLコマンドのロードが可能です。

### 保存コマンド

---

クエリの結果データを外部ファイルに保存することができます。

#### ② SQLコマンドの保存:

1. [ファイル] メニューから [コマンドの保存] を選択、[コマンドの保存] ダイアログボックスが現れます。

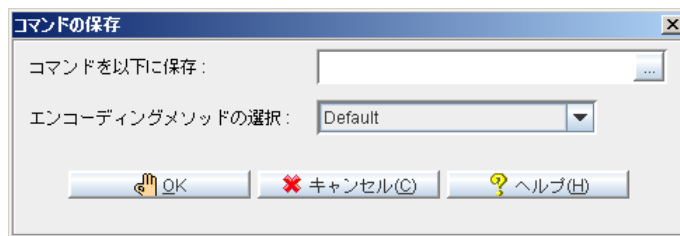
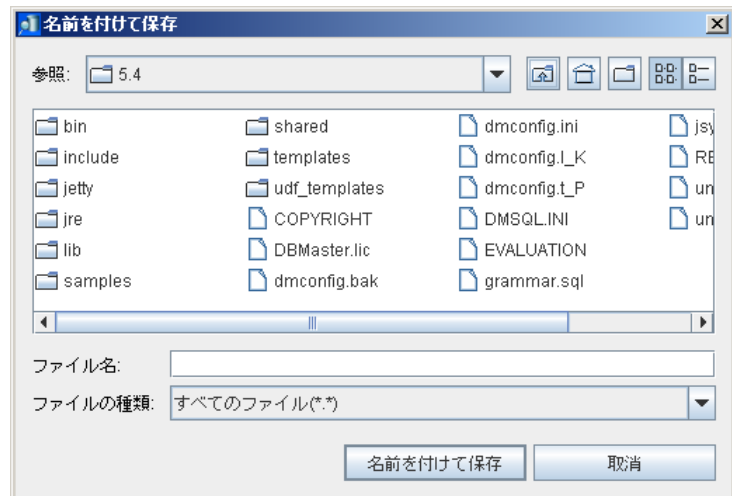


図3-4: コマンドの保存ダイアログボックス

2. [コマンドを以下に保存] フィールドでコマンドファイルのパスを決定。
3. ディレクトリパスをフィールドに入力するか、ブラウズボタン()を使ってコマンドファイルの保存場所を決定します。
4. ブラウズボタンをクリックすると [名前を付けて保存] がダイアログボックスに表示されます。

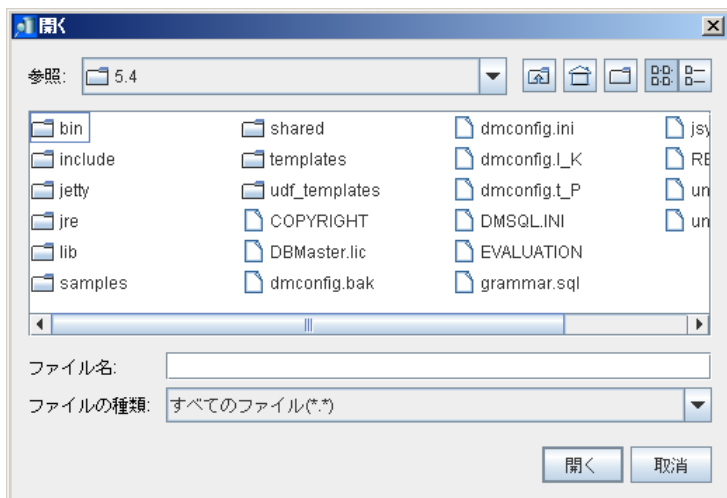


- a) ダイアログボックスにファイル名を入れてパスを指定します。
  - b) 「名前を付けて保存」をクリックします。
5. 「エンコーディングメソッドの選択」リストからエンコーディングメソッドを選ぶ。JSQLはコマンド保存で**Default**、**Unicode Little**、**Unicode Big**の3種類の文字コードに対応しています。
  6. 「OK」をクリックします。

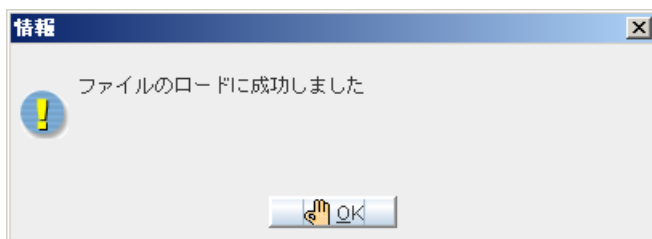
## コマンドのロード

外部ファイルからコマンドウィンドウにSQLコマンドをロードすることもできます。

- ➡ コマンドをロード:
  1. 「ファイル」メニューから「コマンドのロード」を選択、ダイアログボックスに「開く」が表示されます。



2. [参照] からファイルパスを選択する。
3. [開く] ボタンをクリックすると、[情報] ダイアログボックスが表示されます。



4. [OK] をクリックすると、SQLコマンド入力エリアにロードコマンドが表示されます。
5. [F5] キー押下、或いは [実行] ボタン( ) をクリックしてSQLコマンドを実行します。

## 3.3 コマンドを実行する

JSQツールを使ってバッチファイルをコマンドロードなしで直接実行できます。

## SQLを実行する

コマンドの実行でSQLコマンドを実行します。F5押下、或いは実行ボタン (  ) のクリックでも実行できます。

## バッチを実行する

コマンドをロードしなくてもバッチファイルを直接実行できます。

### ➡ バッチコマンドを実行する:

1. [実行] メニューで [バッチの実行] を選択。[入力ファイルのエンコーディングを選択] ダイアログボックスが表示されます。

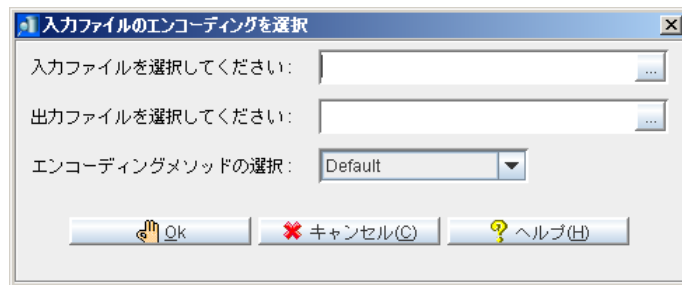


図3-5: 入出力ファイル選択ウィンドウ

2. 入力ファイルをディレクトリをフィールド [入力ファイルを選択してください] に入力、もしくはブラウズボタン(  ) から選択してください。
3. 実行結果の保存ディレクトリをフィールド [出力ファイルを選択してください] に入力するかブラウズボタン(  ) から選択してください。
4. [エンコーディングメソッドの選択] からエンコーディング方法選択。四つのエンコーディングに対応: Default、Auto、Unicode Little、Unicode Big。
5. [OK] をクリックします。入力コマンドが選択したエンコーディングにて出力ファイルに保存されます。

## 3.4 オプション

JSQLツールではユーザインタフェースのプリファレンスを設定することができます。下記の設定はユーザプリファレンスウィンドウで使用できるものです。

**最大履歴コマンド**：データベースに保存される履歴コマンド数を設定。

**クエリ結果テーブルの表示**：コマンドウィンドウにクエリ結果が表形式で表示します。

**レコードの最大数**：大きなレコードを閲覧するとき、一度に表から検索するレコード数の設定。

### プリファレンス

---

項目は最大履歴コマンド、クエリ結果テーブルの表示とレコードの最大数が含まれます。

#### ➡ プリファレンス：

1. [オプション] メニューから [プリファレンス] を選択します。

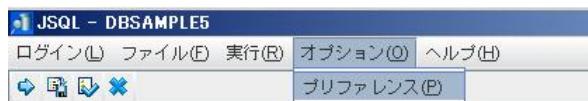


図 3-6: クエリツールオプションメニュー

2. [セットアッププリファレンス] ウィンドウに [一般] の初期設定項目が表示されます。

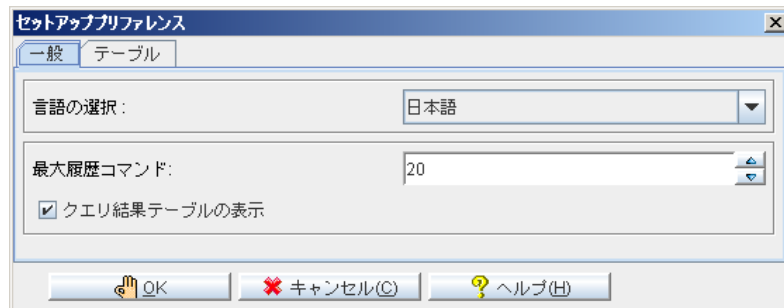


図3-7: 一般のページ

3. [最大履歴コマンド] を変更するため、このフィールドをクリックして数値を入力するか、上と下矢印を使って値を変更します。
4. [クエリ結果テーブルの表示] のチェックボックスにチェックを入れるとクエリ結果は表モードにて表示されます。
5. [テーブル] タブをクリックして表の設定を表示します。

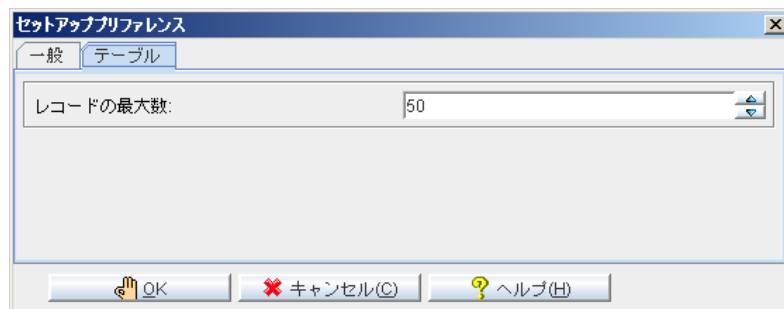


図 3-8: テーブルのページ

6. [レコードの最大数] を変更するため、このフィールドをクリックして数値を入力するか、上と下矢印を使って値を変更します。
7. [OK] をクリックします。



## 4 メニューとツールバー参照

この章はJSQLツールメニューに含まれる操作について解説します。

### 4.1 プルダウンメニュー一覧

JSQLの各プルダウンメニューについて解説します。

| メニュー  | コマンド     | 説明                                           |
|-------|----------|----------------------------------------------|
| ログイン  | DBに接続    | ローカルコンピュータのデータベースもしくはリモートのクライアント/サーバーDBに接続する |
|       | DBを切断    | 現在のDBを切断                                     |
| 保存    | コマンドの保存  | SQLコマンドを外部ファイルに保存する                          |
|       | コマンドのロード | 外部ファイルからSQLコマンドをロードする                        |
| 実行    | SQLの実行   | SQLコマンドを実行                                   |
|       | バッチの実行   | コマンドをロードせず直接バッチファイルを実行                       |
| オプション | プリファレンス  | ユーザインタフェースのプリファレンスを設定                        |

表4-1JSQLプルダウンメニュー

## 4.2 ツールバー コマンド

JSQLのツールバーでは頻繁に行われる操作をボタンとドロップダウンリストボックスにて実行することができます。JSQLのツールバーに表示されるアイコン

| アイコン                                                                              | 説明                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
|  | SQLコマンドを実行する<br>ショートカットキー： F5 |
|  | コマンドの保存                       |
|  | コマンドのロード                      |
|  | コマンドの削除<br>ショートカットキー： F4      |

表 4-2 クエリツールバーアイコンリスト

# 索引

Java動作時間環境, 2-1 - 2-6

JDBA ツール, 2-1 - 2-6

JSQ, 2-1

SQLを実行する, 3-7

お

オプション, 3-8

か

関連資料, 1-2 - 1-3

き

基礎, 2-1

技術サポート, 1-3, 1-4

こ

コマンド入力エリア, 2-3

コマンド結果エリア, 2-3

コマンドのロード, 3-5

さ

参考, 3-8

し

字体規則, 1-4

状態バー, 2-6

実行, 3-1

せ

た

タイトルバー, 2-2

つ

ツールバー, 2-3

ツールバーコマンド, 4-2

て

データベースに接続する, 3-2 P

データベースを切断, 3-3

データベースログイン, 3-1

と

め

メニューバー, 2-2

メニュー, 4-1

は

はじめに, 1-1 - 1-2

バッチの実行, 3-7

ふ

ファイル, 3-4

ほ

保存コマンド, 3-4